

## ものづくり補助事業成果事例

## 最新もやし生産設備『UDライン』の導入による生産性および品質の向上

平田商店は、平成27年度ものづくり補助事業を活用し、新型のもやし根取り機ライン『UDライン』を導入しました。業界の競争激化の中、生産能力アップによるシェア獲得と、加工技術の飛躍的な改善により、見た目も美しい商品を消費者にお届けすることを目指しました。

## 事業取り組みの経緯

当社は、20数年前に、発売されたばかりのもやし根取り機をいち早く導入。約20年間大切に使い込みました。しかし、もやし業界は低価格競争が激しく、生産性と歩留まり率が良くないと採算が合わないといえます。他社との差別化を図り、見た目や利用のしやすいもやしを消費者に提供する目的で、最新の機械や設備の導入を目指しました。



UDラインの根取り、殻取り、脱水の部分

## 実施内容

約4500万円を投資して(株)大生機械(埼玉県鶴ヶ島市)の新しい生産ライン「UDライン」を導入しました。もやしの根取りから殻取り、脱水までを行う生産ラインです。さらに補助事業とは別に業務用計量器も導入しました。既に導入していた旧型機械でも、十分な根取り率を確保していましたが、さらに根取り率を上げ、課題となっていた、根クズなど異物の混入率の飛躍的改善や、製品の折れ、こぼれの減少などによる歩留まりの向上を目指しました。

## 事業取り組みの成果

新型ラインの導入で、生産能力が2～3倍にアップしました。旧型ライン購入の時から製造元企業と交流があり、UDラインの開発には平田社長の要望も数多く反映され



## 補助金活用のポイント！

『UDライン』の製造元大生機械とは、長年の交流が続けています。新型ラインには、当社のもやしへの思いも反映できました。今後は、残さ処理などを強化した進化モデルに期待しています。



## 求める事業パートナー及び支援策

もう一つの主力商品である漬物は、業界全体が厳しい状況なので、製品およびパッケージングなどの新しいアイデアや新規販売ルートなどの出会いを求めています。漬物や原料となる野菜を専門とした飲食業の展開を考えていますので、同様の思いを抱く仲間と検討会を開いています。

ました。もやしの根クズの混入や、こぼれ、折れも減少しました。歩留まりについては、根取り率が向上して残さ量が増えたため差し引きで約3%向上しました。洗浄しやすい構造になったため、労働生産性が飛躍的に向上し、量産体制が確立できました。現場の女性スタッフの評判も上々で、働き方改革と売上アップが実現できました。



根取り率を高めて品質を向上させたもやし製品

現在、店舗と工場は住宅街の中にあります。  
良い移転先を検討中です。

## COMPANY PROFILE

## 有限会社 平田商店

代表者名 代表取締役 平田 雄二  
設立年月 1976年5月1日  
所在地 〒865-0064 熊本県玉名市中 2036  
TEL 0968-73-2297  
FAX 0968-73-2298  
URL <http://tsuke.show-buy.jp/>  
資本金額 300万円  
従業員数 9人  
業種 食品製造業、漬物・もやし 製造・販売・卸

代表取締役  
平田 雄二さん

根取りラインに供給するためのコンベア